

二子玉川地区水辺地域づくりワーキング ニュースレター 第10号

2023. 11. 17

発行：国土交通省京浜河川事務所 世田谷区

令和5年9月16日(土)に、第10回二子玉川地区の水辺地域づくりワーキングを開催しました。

- 地域住民や二子玉川地区で活動されているみなさまを対象に、第10回二子玉川地区水辺地域づくりワーキングを開催しました。合計38名の方にご参加頂きました。
- 今回は、世田谷区役所二子玉川分庁舎内の会場およびWebでの併催となりました。
- 完成をイメージして頂いたうえで討議を行うため、現場見学を先に行いました。
- 堤防天端の対策、兵庫橋撤去後の代替（メモリアル）、久地陸間の閉鎖について、対応方針、検討案等をご提示し、全体討議で参加者の皆様からご意見を頂きました。

ワーキングのながれ

【第1～7回】

堤防の高さを確保することを目的とした整備案をご提示し、参加者で討議を行い、樹林帯を可能な範囲で残すこと等の対応をお示しました。

【第8回】

樹木の移植に関する対応方針、プライバシー保護を考慮した植栽の配置案および樹種の選定、兵庫橋撤去後の代替機能に関する案をご提示し、ご意見をいただきました。

【第9回】

天端の通行に関する懸念事項および対応策、兵庫橋撤去後代替案（メモリアル）についてご提案し、ご意見をいただきました。

【第10回】

天端の対策、兵庫橋撤去後代替（メモリアル）、久地陸間の閉鎖についてご提案し、ご意見をいただきました。

第10回ワーキングの概要

ワーキングは以下のプログラムで進行しました。

■現場見学

現地で工事説明を行い、特殊堤区間で模擬目隠しやARを用いて天端対策を実感して頂きました。

■会場討議

1. 事務局による資料説明

資料を用いて、「二子玉川地区の堤防整備について」、「今までのワーキングの振り返り」、「堤防天端の対策」、「兵庫橋撤去後の代替（メモリアル）」、「久地陸間の閉鎖」の5つの内容を説明しました。

2. 質疑応答

（コーディネーター：東京都市大学 末政教授、五艘准教授、アドバイザー：多自然川づくり専門家 吉村伸一先生）
説明資料に基づき、天端の対策、兵庫橋撤去後の代替、久地陸間の閉鎖についてご意見を頂きました。

3. 全体とりまとめ（コーディネーター：東京都市大学 末政教授、五艘准教授）

頂いたご意見について、コーディネーターのお二人にとりまとめて頂きました。

～ワーキングの様子～

今回は、会場とWebでの併催としました。



◆このニュースレターとワーキングの配布資料は以下のホームページからもご覧いただけます◆

【国土交通省京浜河川事務所】
【世田谷区】

<https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin01291.html>

<https://www.city.setagaya.lg.jp/tamagawa/001/006/d00158442.html>

～ご提示した主な対応方針～ ワーキングでご提示した主な整備方針を紹介します。

- ・ 堤防天端の対策に関しては、天端通行に対して、これまでのワーキングで寄せられたご意見と京浜河川事務所・世田谷区の立場を改めてご説明し、懸念事項を和らげる対策を講じた例を提示しました。
- ・ 前回ワーキングで検討する事になっていた上流側階段について、昇降する向きが堤防と平行になるようにした案を提示しました。
- ・ 兵庫橋撤去後の代替に関しては、記念碑の設置（モニュメントとして親柱を残すこと等）や橋詰平場として活用することができることをご提示しました。
- ・ 久地陸閘の閉鎖に関しては、陸閘閉鎖に伴い、高水敷（運動場等）へのアクセス路が変わることをご報告しました。工事の際には、近隣の方々にご説明します。

懸念事項を和らげる対策

対策の講じ方による「見え方」のイメージを作成しました

整備する対策：生垣、フェンス
 整備する高さ：2m、3m
 整備する場所：マンション側、通路側

通路からの景色

生垣

19

第9回WGで意見があったマンション正面の階段について

■第9回WG意見：マンション正面に階段が設置されるとフライパシーが心配である

↓

■階段形状の見直し

- ・ 第2回WGで動線を強化の意見を受け、第3回WGで現在の計画位置に階段を設置することを決定しているため、階段を無くすことはできない
- ・ 階段利用者の目線がマンション側に向かないように階段形状を変更

階段配置の見直し案

階段が上流側に向くように階段を堤防に沿わせるように変更

約14m

マンションを上上げる感がある

階段配置の見直し案

47

兵庫橋撤去後の橋詰の利用

■撤去した旧兵庫橋の右岸側(兵庫島側)の橋詰は、広場としてスペースが生まれるため、将来的に記念碑の設置(モニュメントとして親柱を残すこと等)や橋詰平場として活用することができます。

兵庫橋の親柱の活用等

兵庫橋の親柱

兵庫橋の親柱

整備例

49

久地陸閘の閉鎖

■洪水時の安全性向上を図るため久地陸閘を閉鎖し、堤防を整備します。

■陸閘閉鎖に伴い、高水敷(運動場等)へのアクセス路が変わります。

■工事の際には、近隣の方々に説明を行います。

久地陸閘(廃止)

51

【お問い合わせ先】
 国土交通省京浜河川事務所 流域治水課
 TEL: 045-503-4008
 FAX: 045-503-4058
 世田谷区玉川総合支所 街づくり課
 TEL: 03-3702-2179
 FAX: 03-3702-0942

1. 堤防天端の対策

(1) 堤防天端の対策について

- 天端を通行しないようにしてほしい。いくら対策しても100%絶対に何も起こらない保証はない。
- 天端通行問題については結論が出ておらず、工事が完成した後に結論を出すというのがこれまでの議論だったはず。
- 二子橋から下流側は天端通行しておらず、天端通行させるのが一般的だから上流側もすべきは矮小化された議論に感じる。対策をしても騒音問題というのは絶対に解消できない。
- 住んでいるマンションでも窃盗事件や、泥棒、不審者のマンションへの侵入が起きており、治安問題が非常に心配。
- 天端がつながると安全に二子玉川まで行けるようになり、とても喜んでいる。避難場所や逃げ道にもなる。
- 玉川町会ではまちの問題点を改善するために防犯パトロールを実施しており、また二子玉川地区交通環境浄化推進協議会では、清掃や自転車、車の対策もしている。心配される部分については、これを機にボランティアでまちづくりの活動に参加して、よりよいまちにしていきたいと思います。
- 夜間は光が必要となるが住民は迷惑だと思うので、夜間だけ通行止めにしてはどうか。
- 天端対策案は緑中心で多摩川らしく、悪くないなと感じた。マンションの方達と相談して、落としどころを見つけたらと思う。
- 植樹に関しては、造る前に住民の方と植物の専門家の方と一緒に考えて選択してはどうか。
- 天端を人が歩くようになると、大きな声とかで野鳥が戻ってこないのではないかなと思う。どうやって野鳥を守るかを懸念している。どのように管理するのか。
- グランスイートは堤防からマンションの自転車置場やごみ置場が近く、すぐ飛び乗れる距離になり、そこから2階の部屋にも入れてしまうため不審者などが侵入してくる危険性があるので、天端を通行させるのは絶対に避けて欲しい。
- 最近物騒なニュースが多い、危険に遭わせてまで快適に散歩したいか聞きたいと思った。
- 災害時や緊急時は通行を許容すると言っているのに、それでも常時、天端を通すという理由があるのであれば、説明して欲しい。
- 物事には何でも例外があるので、例外的にこの区間の堤防の通行をさせないようにしても問題ないのではないかな。
- 多摩川水系河川整備計画や世田谷区の緑の基本計画において、緑とそこに住む生物を守ることが位置づけられており、生き物に静かな生活空間を残さなければいけない。
- 近隣住民は兵庫島公園の騒音、騒ぎ、花火などの問題を見てきている。天端通路を通すとより助長される。
- 特殊堤があって目隠しの樹木を植えると、逆に人が隠れる場所になってしまう。
- 天端通行させることで、自由にベランダに出られなくなり、昼夜を問わずカーテンが開けられないと思うと、絶望的な気持ちになる。
- これまで要望書を提出したり、電話やメールで要望・質問をしているが回答されたことがない。これで様々な意見を聞いて決めたといえるのか。
- ワーキングにおいて前回の意見、質問についてしっかりと答えてから次に進んでほしい。
- ブランズ前の対策について説明がないが、こちらも騒音、治安悪化の問題や住民のメンタルヘルスをむしばむことがないように、設計、運用の変更をお願いします。
- 都市型の川やまちとか、みんなとかって誰なのだろうなとすごく思った。住んでいる人は反対だと思うが、対岸と同様に1本の川沿いの道として歩いてみたいと思った。
- フェンスは落書きをされる可能性が高く、生け垣だけだとマンションの方まで侵入できる可能性が高いと思うので、表面は生け垣、その後ろ側にフェンスを設置し、マンションに行けないようにした方が良いでしょう。
- 防犯の問題については人が入れないようなフェンスが良い。
- 野鳥ボランティアをしているが、以前のワーキングで吉村先生が示した模型のような環境ができれば、野鳥たちにとっても非常に喜ばしい場所である。人が通ることによって野鳥が逃げることはないし、野鳥は自然が落ち着いてくると必ず戻ってくる。環境が良ければなおさらで、野川、

第10回ワーキングで頂いたご意見 (2/2)

兵庫島、多摩川と非常に自然豊かな場所である。

- 親として多摩堤通りは危険だと思うので、天端通行によってそれが回復できるメリットはあるが、マンションの玄関側を通る道があれば、天端通路は必要条件ではない。
- 現地見学でマンションと堤防がすごく近いと感じた。その時に家にいた思春期の子供が、通行するのが嫌でカーテンを閉めたと聞き、天端通行は避けて欲しいと思った。
- 生け垣やフェンスは、台風とか強風が来たときの安全性は検証しているのか、異常気象で災害が起きており、天端を通行しなければ、高い所に余計なものを設置する必要も無いと思う。
- ブランズの前のスペースに、木を植えて欲しい。
- 第一希望は堤防天端全部に新しく植樹をして、元の樹林になるべく近い状態に戻して欲しい。それによって野鳥がもう少し増えるし、少しでも東京に木を増やして温度を下げたい。第2希望は生け垣をなるべく高くして、なるべく川側の擁壁の方に設置して欲しい。川側の擁壁から転落しないように人が上れないフェンスを設置して欲しい。
- 防犯は大事だか皆で力を合わせて取り組むべきであり、堤防ありきで防犯として別の分野で討議すれば良い。
- この場所の特殊性に配慮して特殊堤で整備をしたので、運用についても特殊な地域として考えて欲しい。
- 問題が解決するまでは絶対に人を通さないようにして欲しい。
- このままでは議論は平行線だと思う。対策のない状態ではなく、対策がされた状態をイメージして議論しないと解決しない。またコヤマドライビングスクールから二子玉川駅まで行く人数を調査して、堤防天端を利用する人数を推定してはどうか。
- 堤防は自然災害への対策であり、人が通ることにより犯罪が起こるのは人災なので、その対策をして欲しい。
- パトロールや警備を増やすとしているが、それによって元々の防犯対策が手薄になってしまう可能性もあり、そもそも通さなければ良い。

(2) 階段・スロープについて

- ブランズ前に階段がどうしても必要なかわからない。今の動線でも良いのではないかと、階段を作ることでも人がたまったり、夜騒いだり、迷惑になるのであれば設置しない方が良い。
- ブランズの前は、天端通行の対策が一切講じられないエリアとしてスロープと階段の設置があつて、人の目にさらされ、防犯面でもプライバシー面でもとても生活が心配なエリアなので、階段、スロープの設置について見直して欲しい。
- 階段とスロープの設置を希望する声の方が反対意見よりも優先される理由を教えてください。
- 階段の角度を変えても、昇降の際、必ずマンション側に人が向くので何も懸念される問題は変わらない。

2. 久地陸間の閉鎖

- 久地陸間は不安材料であるので、工事計画が決まったらすぐ町会のほうに教えていただきたい。

3. その他

- ホームページでの回答だけではなく、対話の場を設けて欲しい。
- マンションを向いて休憩をしている作業員がいるが、居心地が悪いので休憩所で休憩して欲しい。
- 前回床上浸水のこともあり、堤防整備により谷川・野川の水がバックしないか教えてください。
- 玉川1丁目は暫定堤防であり、令和元年台風時には危険な状態だったので、ここの整備後すぐ本堤防にして欲しい。

以上